

## 管理や摘蕾確認

～桃の栽培講習会～

もも生産協議会（倉内信一会長）は4月16日、平賀地区と尾上地区の園地で栽培講習会を開きました。生産者約50人が参加し、栽培管理や摘蕾作業を確認しました。

黒石基幹グリーンセンターの藤田俊也営農指導主任が気象経過や生育状況について説明。「消雪日が3月21日と例年より1週間ほど早く、それに伴い気温が高めに推移していることから、生育も早めに進んでいる。生育が早いと凍霜害の危険性が高くなるため、霜注意報を確認して対策してほしい」と呼び掛けました。また、せん孔細菌病について「昨年の発生量はやや多く、依然として菌密度が高い状況にある。薬剤防除のみで防ぐのは難しいので必ず耕種的防除も行ってもらいたい」と話しました。

中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室の普及指導員が摘蕾作業のポイントなどを実演。生産者は「今後の参考にし、品質の良い桃の栽培に努めたい」と話しました。



摘蕾作業の説明を聞く生産者

## 品質統一しっかり

～アルストロメリア目揃会～

ときわ花卉部会（山内壮一郎部会長）は4月28日、常盤青果センターでアルストロメリアの目揃会を開きました。出荷が盛んとなる時期に毎年開いており、部会員6人が出席しました。ピンクパフェやアイスクリーム、タキシードといった9品種のアルストロメリアを並べ、出荷規格などを話し合いました。情報交換会も行い、害虫の発生などを報告し合いました。



出荷規格を話し合う部会員

## 適期追肥の徹底を

～ときわにんにく青空教室～

ときわにんにく部会（對馬伸吾部会長）は4月26日、常盤基幹支店管内のほ場で青空教室を開きました。部会員約40人が参加し、生育状況や露地にんにくの追肥の時期、病虫害防除を確認しました。

中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室の普及指導員が講師を務め、生育状況や今後の栽培管理のポイントについて説明。「平年に比べて生育が早いため、追肥の時期も早まる。品質低下を防ぐため、適期追肥に努めてほしい」と話しました。



今後の栽培管理を確認する部会員